

これまででもこれからも  
あなたのそばにアイレック



清瀬市男女共同参画センター「アイレック」は、平成7年10月に清瀬駅北口再開発の際にアミュービル内に開設され、30周年を迎えました。これまで多くの市民の皆様のご支援をいただき、心より感謝申し上げます。アイレックは、SDGsの目標のひとつであるジェンダー平等の実現に向け、情報発信や啓発活動を通じて重要な役割を果たしてまいりました。今後も誰もが自分らしく生きられるまちを目指し、市民の皆様とともにさらに推進してまいります。

清瀬市長 澁谷桂司



# これまでも これからも あなたのそばにアイレック

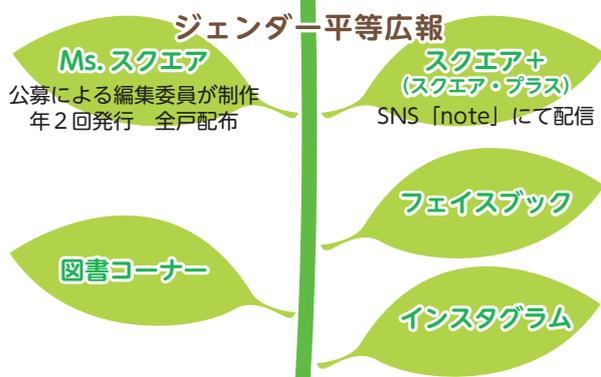
清瀬市男女共同参画センター「アイレック」は30周年を迎えました。  
初代センター長 菊池靖子さんはMs.スクエア第20号にこんな言葉を寄せています。

“誰にでも起こる問題をみんなで話し合い、たすけあいながら解決の道を探る。  
自分を取り戻していく、そんな場所。アイレックで仲間をみつけてください。”

開設当初から「市民が参画して作るセンター」として歩み続け、現在もジェンダー平等を推進するための活動、学習、情報収集、仲間づくりや交流、相談の場として、いろいろな人が集うアイレックにはいつも新しい風が吹いています。30周年を記念して、改めてアイレックを皆さんに紹介します。



男女共同参画に関するパンフレット等資料の展示、図書の収集・貸し出し、ジェンダー平等広報誌の編集・発行、情報発信



講座、講演会、映画上映等の実施



## アイレックの活動を担う人々

### 【市民参画】による運営

#### アイレック・サポーター (随時募集中※詳細はP9参照)

アイレックの目的、趣旨に賛同する市民が「サポーター」となり、チームに所属し、アイレックの運営に「参画」しています(現在6チーム) ※無償の活動です

図書チーム	アイレック所蔵図書の分類整理、本の紹介
保育チーム	保育室内の壁面装飾、遊具のメンテナンス
切り抜き・交流チーム	男女共同参画に関わる新聞記事を切り抜き、掲示。記事を通して語り合い、意識を高め合う
イベントチーム	アイレック主催事業の企画・運営に関すること
清瀬市男女平等推進条例を育てる会	条例の普及、啓発をはかるため、イベントの企画運営、ガイドブック等を検討する
アイレックカフェチーム	哲学対話の手法で Ms.スクエアのトピックを中心に語り合う集いの企画運営

# 手を組めば 新しい風

ともに認めあうこと ともに支えあうこと



## アイレック『ILEC』とは

公募により決まった愛称で、情報 (Information)、学習 (Learning)、交流 (Exchange)、相談 (Consultation) の4つの機能を象徴して頭文字を合わせたものです。

# E

Exchange  
交流  
エクスチェンジ

交流・活動の拠点として、交流・学習スペース、会議室等の環境づくり

サポーター+会議  
サポーター全体会議

交流・活動の拠点

(毎年、10月に開催)  
※P10 参照

パープルキャンドル  
※P5 参照

# C

Consultation  
相談  
コンサルテーション

生き方、家族、しごと等女性が抱えるさまざまな悩みについて専門の女性相談員が相談を受けます

法律相談

女性の悩み相談

しごと相談

※詳しくは  
「スクエア+」、ホームページ、  
スケジュールは「市報」参照

### 委員会

男女共同参画センター運営委員会  
アイレックまつり実行委員会  
Ms.スクエア編集委員会  
スクエア+編集委員会

### 登録団体

男女共同参画社会の実現を目的として継続的に活動する団体  
〔令和8年1月現在10団体〕

登録団体特典

- ・会議室の早期利用申し込み
- ・専用ロッカーの使用
- ・印刷機や裁断機の利用

相談員

地域振興部  
男女共同参画センター

委託事業者

# アイレックの

## 1990年代

## 2000年代

時代を  
象徴する  
出来事

阪神淡路大震災('95)  
長野オリンピック・パラリンピック開催('98)

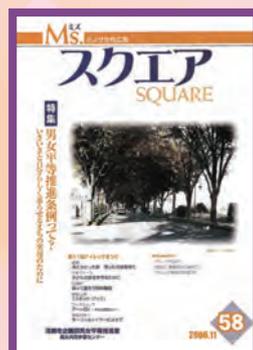
アメリカ同時多発テロ('01)  
リーマンショック('08)



『Ms.スクエア』  
創刊



清瀬市  
男女共同参画センター  
(アイレック) 誕生



清瀬市男女平等  
推進条例制定

女性センター開設を  
求める陳情が採択

1991  
(平成3年)

1994  
(平成6年)

1995  
(平成7年)

1996  
(平成8年)

2006  
(平成18年)

第1回  
アイレックまつり

『麦畑をかけぬけて』発行  
※『Ms.スクエア』106号参照



『全会一致で可決した  
“清瀬市男女平等推進条例”』

一般市民も作成に関わって、多摩26市の中では5番目に施行されました。※

条例の第11条には男女平等推進の拠点施設としてのアイレックが明記されています。

また、第14条では市に対して男女平等参画の形成に必要な調査等の際は原則として性別統計を行うものと義務づける、第9条では教育に携わる者の責務として男女平等参画の理念に配慮した教育を行うように務めるといった他の自治体には見られない特色もあります。

※全62自治体の詳細は内閣府・東京都生活文化局資料『区市町村の男女平等参画推進状況(令和7年度)』

### 「アイレック設立物語

### ～ Ms.スクエアから始まった夢の実現～

アイレックは女性市民の熱意から生まれました。その中心にいたのがMs.スクエア初代編集委員です。彼女たちは、Ms.スクエア創刊号で特集した駅前再開発ビルへの「女性の夢」を実現すべく、任期終了後に「女性センター機能を持たせた施設の確保を求める陳情」を市議会に提出。この陳情が全会一致で採択され、後のアイレック設立へとつながりました。市民の声から始まったアイレックは、現在も変わらず市民参画により運営されています。

### 〈ジェンダー関連ニュース&『流行語』〉

第4回世界女性会議(北京会議)('95)  
男女共同参画基本法施行('99)

『ドメスティック・バイオレンス(DV)』('01)  
男女雇用機会均等法改正('06)

# 歩んだ30年

## 2010年代

東日本大震災('11)  
『平成』から『令和』へ('18)

## 2020年代

新型コロナウイルス流行('20)  
東京オリンピック・パラリンピック開催('21)



**男女平等推進条例  
『子どものためのガイドブック』  
配布開始**

※写真は令和4年発刊の新装版です

(平成26年)  
2014



**『Ms.スクエア  
100号記念号』**

(令和3年)  
2021

(令和4年)  
2022

**パープルキャンドル・  
カフェきよにじ※開始**  
※P9参照



**第30回  
アイレックまつり**

(令和6年)  
2024

(令和7年)  
2025

**『スクエア+』  
SNS [note] にて  
配信開始**

**『SNSで広がる  
ジェンダー規範への問題提起：  
#KuToo (クウトゥー) 運動』**

#KuToo運動とは、2019年に、職場で女性にハイヒールやパンプスの着用を強制する慣習の見直しを求めて始まった運動です。「靴」と「苦痛」をかけた「KuToo」に、2017年にアメリカから広まった性被害告発の『#MeToo (ミートゥー/「私も」) 運動』を重ねた名称で、署名活動やSNSを通じて注目を集めました。

**『1000個のろうそくをともしパープルキャンドル』**

女性に対するあらゆる暴力をなくす運動(11月12日~11月25日)期間中には全国各地で、紫色のライトアップが行われます。清瀬市では、2021年から、暴力の被害者に対して「あなたは悪くない。一人ではない」というメッセージを込めて、清瀬駅北口の2か所です約1000個のろうそくをともしパープルキャンドルを実施しています。2024年からは、さらにその期間中に市役所本庁舎の石銘板を紫色にライトアップしました。

- 『イクメン』('10)
- 『マタハラ (マタニティ・ハラスメント)』('14)
- 女性活躍推進基本法施行 ('16)
- 小池百合子氏 東京都知事に就任 ('16)
- 『保育園落ちた、日本死ね』('16)
- 政治分野における男女共同参画推進法施行 ('18)
- 『#MeToo』('18)
- 『#KuToo』('19) ※コラム参照

- 『ジェンダー平等』('21)
- 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律 ('24)
- 高市早苗氏 内閣総理大臣に就任 ('25)

緑字はジェンダー関連ニュース、青字は流行語  
※流行語は全て『現代用語の基礎知識』選  
T&D保険グループ 新語・流行語大賞』より抜粋

行こう・使おう  
活用しよう

# アイレック 4F 7回

## ⑧ 催す・集う・参加する

〈会議室1・2（有料）〉

●アイレックの講座や会議だけでなく、子育てひろばや映画上映会などでも使用されています。

●一般貸し出しは、利用日の1か月前の1日から、アイレック登録団体は利用日の3か月前の1日から予約申し込みができます。予約には「公共施設予約システム」への登録が必要です。

●会議室はパーティションで区切られており、オープンにして使用することも可能です。

●マイク、プロジェクター、ワゴンアンプも有料で利用できます。

（会議室1：63.5㎡ 会議室2：50.3㎡ 定員：各24名）  
※会議室の貸し出しについては清瀬市HP「施設案内 男女共同参画センター」をご参照ください。

## ⑦ 交流・まなぶ・学習

〈交流・学習スペース〉

打ち合わせをしたり、本を読んだり、勉強の場にもなります。

自由に出入り可能ですので、個々の学習や互いに理解を深める交流の場としてご利用ください。

## ⑥ 作業する

〈ワーク室〉

登録団体の方は、印刷機や裁断機が使えます。

## ⑤ 聞く・尋ねる

〈事務室〉

職員がおりますので何でも気軽にお声がけください。

## ⑦ 交流・学習 スペース



## ⑧ 会議室2

## ⑧ 会議室1



## ⑥ ワーク室



## ④ 図書 コーナー



## ⑤ 事務室



：給湯コーナー

：子ども用トイレ

：授乳・おむつ替えコーナー



## 相談する

女性が抱えるさまざまな悩みについて女性相談員が一緒に寄り添います。生き方・家族・仕事に関する悩み、職場での人間関係、夫や恋人からの暴力や暴言、離婚・相続・法律問題、ハラスメントや職場でのモヤモヤなど一人で悩まず、まずはご相談ください。個人の秘密は厳守します。アイレック：042-495-7002までお電話ください。年末年始を除き、平日午前8時30分から午後5時まで受け付けております。

## 施設案内

開館時間：午前9時～午後10時

休館日：月曜日、年末年始

※交流・学習スペースは、イベント開催時など使用できない場合がありますのでHPでご確認ください。

# アイレック フロアマップ

印刷されたMs.スクエア108号におきまして、フロアマップの会議室1と会議室2の表記が逆になっていました。正しくは以下の通りです。



## ① 入り口

エレベーターを降りて右手、自動ドアの手前右奥にトイレがあります。

## ② 赤ちゃんコーナー

〈授乳・おむつ替えコーナー〉

自動ドアを入れて左手奥におむつ替えコーナーがあり、赤ちゃん連れでも安心です。東京都の「赤ちゃん・ふらっと事業」の施設として登録しています。

## ③ 保育・あそぶ

〈保育室〉

- アイレックの講座や相談にはすべて無料・予約制で保育がついています。
- 明るく広々とした室内にはおもちゃもあり、空いている時間は誰でもご利用いただけます。ぜひお子さんと遊びに来てください。ここも東京都の「赤ちゃん・ふらっと事業」の施設として登録しています。

## 図書コーナーについて

Q いつ借りることができますか？

A 貸し出し返却ともに毎日午前9時から午後10時までです。(月曜日のみ午後5時まで)  
※年末年始・祝日の月曜日は除きます。

Q 何冊借りることができますか？

A 4冊まで15日間借りることができます。

Q 借りる時に何が必要ですか？

A マイナンバーカード等ご本人を確認できる写真つきのものが必要です。

Q 館内で読むことができる場所がありますか？

A 交流・学習スペースで読むことができます。

## ④ 本を読む・借りる

〈図書コーナー〉

アイレック設立当時からある図書コーナー。ここではジェンダー平等に関する図書の収集と貸し出しを行っています。

蔵書数は約3,000冊(令和8年1月現在)で、近隣の男女共同参画センターの資料、書庫にある「日本婦人問題資料集成」全10巻(ドメス出版)など貴重な本も所蔵しています。



に考え、や地域などの抱え込(アイを除く、)

ない日

# アイレックの未来予想図

## 理念がぶれないアイレックが好き

子育て支援に10年以上関わる中で、予防教育の視点から人権を土台とした包括的性教育を伝える活動を始めました。それを機に、ジェンダー平等についても改めて学び直し、考えるようになりました。

私は、アイレックの理念がぶれないところが好きです。男女共同参画を目標としたアイレックのさまざまな活動には、これまでの歴史や社会背景の中で積み重ねられてきた根拠があります。「男女平等推進条例を育てる会」の活動でも、なぜ「条例」にすることが大切なのかなど、学びを積んでこられた方々から教えていただきました。

清瀬にはいろいろな活動団体がありますが、各々が掲げる理想や思い描くビジョンには、共通点もたくさんあります。アイレックには今後、そんな団体をつなぐハブ（ネットワークの要）になってほしいです。



松本なづなさん 40代/竹丘

- ・男女共同参画センター運営委員
- ・アイレック・サポーター
- 「清瀬市男女平等推進条例を育てる会」
- ・登録団体「NPO法人ウイズアイ」

NPO法人 きよセラボ ココロイキプロジェクトとして  
アイレックまつりでワークショップ\*を担当しました  
※アイレックまつりワークショップについては10ページ参照

## 立地が最高！男女共同参画の枠を超えて「みんなの拠り所へ」

アイレックとの出会いは「k-net子育てひろば」へ参加したことでした。その時、図書コーナーで手に取った本がキャリアに悩む私のモヤモヤを言語化してくれました。

これからのアイレックには、男女共同参画の枠を超え、あらゆる人の人権を守る存在になってほしいです。私は子どもの権利条例の策定に関心がありますが、先輩方が経験した男女平等実現への歩みと地続きだと思っています。その知見を次世代に引き継ぐ機能を期待しています。

また現状のアイレックは、少し敷居が高い印象があります。駅前という好立地を生かし、若い世代がもっと「自分たちの居場所」と思えるよう、漫画やSNSなども取り入れながら親しみやすく脱皮する時かもしれません。

お茶を飲みながら誰もが安心して語り合える、そんな場所にしていきたいですね。



A.O.さん 40代/中清戸

- ・アイレック・サポーター
- 「アイレックカフェチーム」
- ・Ms.スクエア編集委員(元)
- ・登録団体「チルドレン・ファースト」

アイレックカフェの様子

### アイレックの好きなおとこ

#### ・ゆるぎない理念と継続性

基本的人権を大切にしながら、さまざまな事業を展開し続けている(70代・男性)

#### ・アットホームな雰囲気

温かい(50代・女性)

優しくしてもらえる(40代・女性)

#### ・対話と自己表現の場

自分の意見や立場を理解してもらおうと話すことができる(70代・女性)

#### ・学びの場と新たな出会い

ジェンダー関連の知識を深められる(70代・男性)

イベントを通じて新しい方々と出会える(70代・女性)

#### ・市民参加と自己実現が可能

市民が主体的に参加できる(80代・女性)

イベントなどを企画して自己実現できる(70代・女性)

#### ・手厚いサポート体制

無料の相談の場がある(50代・女性)

## 柔らかく優しくフラットになった

20数年前、文章講座を経てMs.スクエアの編集に携わりました。その当時は今は異なり、あらかじめテーマが決められていて、それに基づいて本の感想やコラム等の記事を書いていたように記憶しています。

思い返せばセンターを必死に立ち上げる時期だったので、こうあらねばならないという理想、信念の強さみたいなものもあり、アイレックをひっぱっていく強力なリーダーを必要としていたのかもしれない。

現在のMs.スクエア含めアイレックのさまざまな活動をみると、自らの意見もきちんと持ちつつ、相手への尊敬を忘れず、お互いを認め合おうという姿勢が感じられます。

若い方も増え、和やかな雰囲気のもと、多様化してきた参加者同士の関係性もよりフラットになり、活動に参加しやすくなったと思います。男性の参加も増え、世代交代がより進むといいですね。

アイレックは老若男女問わず市民の皆さんと一緒に育てていく機関です。これからも『誰でも入りやすく、世代や立場を超えて学び、つながれる、市民参加型の居場所』を作っていきます。

★サポーター募集中です！詳しくはこちらから。➡

# ～多様なつながりを結ぶ、地域の拠点に～

アイレックの好きなところや、これからのあり方について、さまざまな声を集めました。

## こうなってほしい

### ・認知度アップ

市民に広く発信する (50代・女性)  
もっと地域に出る (30代・女性)

### ・参加者の多様化

幅広い年齢層の男女から意見を取り入れていく (70代・男性)

### ・入りやすい居場所作り

若い人も行ってみたいと思えるデザインにしたり、蔵書に漫画を増やす (40代・女性)  
男性にとって近寄りやすいイメージからの脱却 (70代・男性)

### ・企画の充実

多彩な企画や発想の転換が必要 (70代・男性)  
近隣の男女共同参画センターと連携事業をする (60代・女性)

## 【アンケート概要】

アイレックとの関わりが深い方々(委員会・サポーター・登録団体などのメンバー)からご意見を募集しました。(※2025年11月下旬頃) ご協力ありがとうございました。

## もっと学校とつながりませんか

アイレックに関わっている方々は信念があり、温かく受け入れてくれるところが好きですね。アイレックまつり実行委員会では「学校とアイレックをつなげることができないか」という私の提案にも耳を傾けてくれて、「人権カルタ」<sup>※1</sup>の作成に結びつきました。

長くPTAや学校支援本部<sup>※2</sup>での活動をしています。アイレックと学校との交流をもっと増やしていけたら、男女平等推進や人権への興味も地域の方々に広がるのではないかと思います。

例えば小中学校へ専門知識のあるアイレックのメンバーが出向いて児童・生徒たちに出前授業をするなど、学校支援本部とも連携して、市民にとってよりアイレックに入りやすい雰囲気を作っていけたらいいですね。

※1 人権カルタは、「清瀬市男女平等推進条例 子どものためのガイドブック」を読んだ市内の小学5年生、6年生に夏休みの宿題で作成してもらい、第20回～22回アイレックまつりで展示。

※2 地域の人と一緒に学校とその教育をサポートする各小・中学校に設置された組織

齊藤しのぶさん 50代/竹丘

- ・男女共同参画センター運営委員会 (委員長)
- ・アイレックまつり実行委員 (元)

後ろは人権カルタ<sup>※1</sup>



## アイレック



矢澤洋子さん 80代/松山

- ・アイレック・サポーター  
「清瀬市男女平等推進条例を育てる会」  
・男女共同参画センター運営委員会 (元)  
・Ms.スクエア編集委員 (元)

2022年のパープルキャンドル<sup>\*</sup> (左から3番目が矢澤さん)

<sup>\*</sup>パープルキャンドルについては5ページ参照

「こんな企画をやってほしい!」「これってどういうこと?」「メンバーとして参加したい!」「こういうことで悩んでる」など、多様なご意見や疑問点、お悩みを気軽にどうぞお寄せください。いつでも歓迎しています。



## これからも、属性を超えて集える場を支える

ぼくは、1番大事なものは「人権」だと考えていて、1人ひとりがどんなふうにも誇りを持って生きていけるのか、地域や周りの人と支え合っていくのか、その意味でもジェンダー平等を主眼に掲げているアイレックというものの存在意義があると思っています。

LGBTQ当事者の方、性的属性があいまいな方たちの拠り所・居場所として、アライ (Ally) と呼ばれる支援者とともに開催している「カフェきよにじ」<sup>\*</sup>の運営に関わっています。

男性の中には今の時代の変化に意識がついていけず、戸惑っている現状もあるように思います。女性がさまざまに受けてきた不合理の体験を、直に学ぶ機会もあるといいですね。

それと、登録団体同士の活動を紹介し合う、交流の場があるとアイレックのこれからの活性化できる意見も知恵も出てくると思うので、ぜひ、やってみたいですね。

※「カフェきよにじ」は、奇数月の第二土曜日に開催

宮沢勝之さん 70代/竹丘

- ・男女共同参画センター運営委員会
- ・清瀬市性の多様性啓発事業連絡会
- ・登録団体「きよせLGBTqコミュニティいろは」

全国で活動を続けるシンガーソングライター歴44年



# 第30回アイレックまつり報告

第30回アイレックまつりが、10月11日（土）・12日（日）の2日間にかけて開催されました。映画上映会やワークショップ、トークセッション、バザー、市内小学生による男女共同参画ポスターや登録団体による活動紹介パネル展示、アイレックロゴマークの投票など、アイレック30周年にふさわしい多彩な催しがあり、たくさんの方にご来場いただきました。



10月12日

～トークセッション～

## 瀧波ユカリと武田砂鉄が語るフェミニズムのこれから

講師：漫画家 瀧波ユカリさん  
ライター 武田砂鉄さん

歯切れのよいトークが魅力の瀧波さんと柔らかな口調で語りかける武田さんが、2時間たっぷりの“フェミトーク”で会場を沸かせてくれました。家父長制の話から、身近なテレビドラマのジェンダーバイアスの話まで、次々と繰り出される軽妙なトークには、新たな気づきがありました。詳細は、きよせジェンダー平等広報「スクエア+」にて公開しています。幅広いお話の中から印象的だったトピックをいくつかご紹介していますので、ぜひご覧ください。

※フェミトーク：フェミニズムについての対話や議論のこと。  
フェミニズムとは性差別による不当な扱いや不利益を解消しようとする思想や運動のこと。



「スクエア+」の  
記事はこちら

～ワークショップ～

## じぶんだいきパーティー！ -自分はおのままでもいい-

講師：NPO 法人 きよセラボ  
ココロイキプロジェクト

小学生と未就学児とその保護者を対象にしたワークショップ。参加者は、保護者と一緒に来場した子ども達で、男女比は半々ぐらいでした。

まず始めに、「じぶんっていいな」発見シートに、自分自身のことを記入していきました。そこで、例えば「自分の変えたいところが、“飽きっぽい”だとしても、他の見方をすると“好奇心旺盛”とも言えるね」と、短所を長所に置き換える「リフレーミング」という考え方を知りました。

次が工作です。どの子ども夢中になって、持参した物や、用意されていた物を使って、自分が好きなものコラージュを作製していました。

同じものごとでも、「とらえ方」を変えることで、直すより生かすという考え方の「リフレーミング」を知ることは、生きやすさにつながっていくのではないかと思います。

### 『集まる場所が必要だ』

エリック・クリネンバーグ  
英治出版

ややもすると箱物、形だけだと言われがちな社会的インフラ。じつはそこにこそ居場所があるのだと本書は説いています。公園、市民農園などインターネット上ではないリアルに集まれる場。そこには人々を勇気づけ、疲れた心を癒やす力があるのだと。物理的な場所そのものが暮らしの質を左右させることを改めて感じさせる本です。



アイレックの図書コーナーのように身構えずに立ち寄れる町のコミュニティーセンターの図書室。司書の小町さんが訪れる5人に問いかける「何をお探し？」という言葉。それは本以外の探し物を尋ねているかのようで、ハッとさせられます。彼女が薦めてくれる本は借りに来た全員が予想もしないジャンル。薦められた本をきっかけに人生や考えが変わっていく人々を応援したくなります。

### 『お探し物は図書室まで』

青山 美智子  
ポプラ社



10月11日

## 映画上映会「ビリーブ 未来への大逆転」 (2018年 アメリカ)

米国史上二人目の女性最高裁判事ルース・ベイダー・ギンズバーグが、男女平等の実現のために闘った若き日の物語。

法科大学院を優秀な成績で卒業しながら、女性ゆえに弁護士就職がかなわず教職の道へ。弁護士経験のない彼女が法廷に立つきっかけは、弁護士である夫が見つけた「男性が敗訴した性差別訴訟」の記録でした。「男性差別」を問うことで、法の不平等を打破できると確信したからです。「判決は、時代の空気には左右される」という言葉が劇中に繰り返されますが、「時代の変化」を体現する娘の姿も、彼女を後押しします。

法廷から社会を変えたルースの物語は、今の男女平等は先人の小さな闘いの積み重ねにより築かれたものでありと再認識させてくれます。

### 『わたしは反対！ 社会をかえたアメリカ最高裁判事 ルース・ベイダー・ギンズバーグ』

文：デビー・リヴィー 訳：さくまゆみこ  
絵：エリザベス・バドリー  
子どもの未来社

「わたしは反対！」と声を上げ続け、法廷から男女平等の扉を開き、社会を変えていったルース。彼女の勇気ある行動と強い意志が、印象的な絵とダイナミックなイラスト文字から生き生きと伝わり、子どもから大人まで読み応えのある一冊です。



## 人権週間記念講座 映画上映会 『ベアテの贈りもの』 2025・12・6 実施

この映画は、日本国憲法の第14条「法の下での平等」、第24条「両性の平等の原則」を草案した女性、ベアテ・シロタ・ゴードンさんを中心に据え、その条文を、その後の日本人女性がいかに使い、育ててきたのかを、何人かの女性の語りにつづっています。

映画終了後の、10人ほどの座談会では、「憲法第14条、第24条を生かしていく女性たちが、バトンをつなぐように現れてくることに、頼もしさを感じた」や「とにかくもう、ベアテさん、憲法にあの条項を入れてくれてありがとう！」等の感想が出ていました。また、ホール横では、国立女性教育会館(NWEC)のパネル「ベアテ・シロタ・ゴードン展」も展示され、理解の一助になっていました。

### 『1945年のクリスマス 日本国憲法に「男女平等」を書いた 女性の自伝』

ベアテ・シロタ・ゴードン  
構成・文：平岡磨紀子  
朝日新聞出版

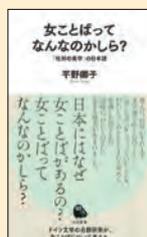
GHQ民政局員として若干22歳で日本国憲法草案の作成に携わったベアテは、日本女性の幸せのために『男女平等』の条項を書きました。知られざる日本国憲法の誕生秘話が明かされます。映画とあわせて、この本もお薦めです。



### 『女ことばってなんなのかしら？ 「性別の美学」の日本語』

平野卿子  
河出書房新社

知っていましたか？女ことばには、命令形がないということ。だから、「やめて！」は、お願いになってしまうということ。断固拒否するには、命令形の「やめろ！」を使うべきだということ。「女ことば」を手がかりに、さしたる疑問も持たずに使っていることばを、ジェンダー格差の視点から見つめ直すとする本です。



### 『集団浅慮 「優秀だった男たち」は なぜ道を誤るのか？』

古賀史健  
ダイヤモンド社

2025年フジテレビ問題の第三者委員会調査報告書を丁寧に読み解いた著者が日本社会に根づく「集団浅慮」を浮き彫りにする一冊です。報告書が伝えようとした真意から、私たちが当たり前身に置いてきた組織や社会の危うさを問い直します。「多様性」とは、「尊重」とは何か。人権意識から人権「知識」へアップデートしませんか。



# 明治薬科大学の学生を迎えました

昨年に続き、今年も明治薬科大学の大学生を迎え体験学習を実施しました。今年も11月11日から13日と、12月9日から11日の2度にわたり、合計10名の学生さんが見えました（詳細は『スクエア+』をご参照ください）。

6、7ページのフロアマップの原図は後半の体験学習で作成しました。また、体験学習の最終日には、座談会を開き、アイレックを学生がどう利用するか、どんなアイレックだったらいかにについて、話し合ってもらいました。そして、以下のような意見が出ました。

- SNSで1か月のイベント情報をカレンダーのように一覧で見られたら便利。
- 清瀬には医療・福祉系の大学が3校もあるので大学のボランティアサークルにチラシを持って行ってボランティアとして来てもらい、参加した学生から、友達やクラスに情報を流してもらうといい。
- チラシやSNSでは、前回の楽しそうな様子とか、興味がわくような具体的なイメージがあると、参加してみようかなと思う人も出てくるんじゃないかなと思う。



前半の体験学習で作成したデートDV防止のチラシ

## アイレックからのお知らせ

アイレック30周年の記念事業として、中学生から25歳未満の若年層の方を対象にアイレックのロゴマークの募集、小学5年生と6年生を対象に「男女共同参画」をテーマにしたポスターの募集を行いました。その最優秀作品が今回のMs.スクエアの表紙を飾っています。

アイレックロゴは都立清瀬高等学校2年生の長坂のぞみさん、ポスターは清瀬小学校6年の室賀羽奈さんの作品です。

30周年の記念事業、清瀬市ジェンダー平等白書は次号でご紹介します。

最新情報はホームページの他、「スクエア+」やSNSでお伝えします。



SNS版ジェンダー平等広報「スクエア+」



アイレック Facebook



アイレック Instagram

### 編集後記

今回の108号の編集をとおして、「アイレック」の成り立ちや、越し来かたがわかり、そこに携わっている(いた)皆さんの熱い思いに触れる事もできました。「アイレック」は組織の名称だけでなく、実際に集えて、使える場所のことでもある。ということにも、気づかされました。(前川)

編集委員になるまで、足を踏み入れたことのなかったアイレック。今回の記念号編集で、アイレックの歴史と魅力に触れることができました。「もっと利用したい！もっと知ってほしい！」という気持ちであふれています。(中道)

武田砂鉄さんの「人は即効性のある薬を求めると、ジェンダー平等の実現に特効薬はない」という言葉が心に残りました。アイレックが30周年を迎えたのも、ひとつひとつの積み重ねがあったからこそでしょう。日々の活動や気づきがジェンダー平等につながるのだと感じました。(中川)

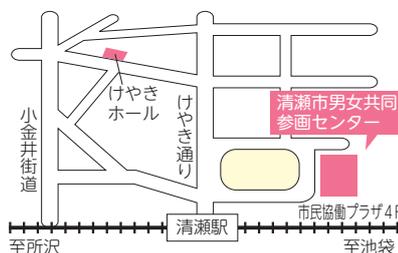
アイスランドの全女性の約9割がストに参加した日を描いた「女性の休日」を観ました。活動がどのように始まり、伝わっていったのかがよくわかるドキュメンタリー映画です。この映画、そしてアイレックの設立当初から関わってきた方へのインタビューで感じたのは、何かを最初に始めた人たちのエネルギーに触れること、書かれた資料だけでは知り得ない生の声を聞くことの大切さでした。(杉浦)

市民の願いから生まれたアイレックの30年は、清瀬が誇るべき歩みだと感じました。実は編集委員になるまでは自分とは縁のない場所だと思っていました。今は、市民が集い心を寄せる「拠り所」として、なくてはならない存在なのだ実感しています。(小島)

なんとか編集委員を2年間務めてホッとしています。思えば様々なジャンル(家事ダグ、清瀬の農業、女性の起業)を取り上げました。自分の書いた記事が少しでもお役に立てた経験は貴重な機会となりました。ありがとうございました。(岸本)

## 次号109号の発行は令和8年10月です

発行/清瀬市男女共同参画センター  
 発行日/令和8年3月15日  
 企画・編集/清瀬市男女共同参画センター  
 〒204-0021 東京都清瀬市元町1-2-11  
 市民協働プラザ4階  
 ☎ 042-495-7002  
 FAX 042-495-7008  
 表紙題字：こうたろう



## 皆さんの声募集中

Ms.スクエア108号はいかがでしたか？  
 ご意見、ご感想、今後取り上げてほしいテーマなどを、  
 右記QRコードまたは、郵送、  
 FAXでお寄せください。



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

